

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花いしやま館 1階 R4.3.29 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談やカンファレンス会議の際、理念に立ち返りケアの有り方の確認、見直しを行っている。新入オリエンテーションの時もケア理念の実践と重要性の説明を行い、具体化し実践に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、毎年参加させて頂いた地域行事の中止や入居者が戸外に出て地域の方々との交流は出来なかった。	・コロナの影響により地域交流は難しい。制限がある中でもよく対応されている事が伺える。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、書面会議を主として行っている。ユニットのケア内容、サービス状況や実践内容の報告を行う。通常報告の他、質問や意見を伺う形式を取った。	・毎回資料を送付して頂いている。会議での意見が反映されているのも、資料から伺える。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の入居者様へのサービス対応や、書類などについて札幌市の担当者へ確認や相談を行う。現在書面での運営推進会議となっているが、地域包括支援センター職員へ取り組み等を報告し、質問や意見を頂いている。	・会議報告から対応している状況が見受けられる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化指針に基づき、3ヶ月に1回の身体拘束等適正化委員会や運営推進会議での取り上げ、ユニット会議の内部研修で実施している。入居者様に離床センサーを使用する際は、行動抑制とならないよう十分課題分析を行い、ご家族への説明の基同意書を頂き、介護計画書に記載し毎月評価を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議にて、指針の説明を受け、取り組みに素晴らしさを感じているというコメントもあり、十分に出来ていると評価する。 ・またご家族への説明、同意等しっかり行っている事が伺える。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回虐待防止検討委員会を実施している。職員へ委員会内容の伝達、周知の他ユニット会議で虐待についての理解を図り、入居者様への声掛けの際、言葉使いから虐待に繋がらない様取り組みを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・項目6同様、3ヶ月に1回委員会の開催、内部研修を行い、入居者様への言葉遣いにも配慮されており充分に出来ている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同制度を利用している入居者様の後見人へ質問や確認を行っている。物品の購入、受診、書類におけるやり取りの方法をスタッフへ伝達し学ぶ機会を持っている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時、本社職員も同席し説明を行っている。疑問があった際は都度説明を行い、理解と納得を得られる様に努めている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、来館制限中だが、定期的に電話による近況報告を行う。運営推進会議も書面会議となっているが、意見や要望が記載出来る様式としている。会議後は、その内容と検討した記録を郵送している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・近況報告を細かく行うことで、ご家族も安心していることが伺え、運営推進会議での意見集約、反映を行うことが充分に出来ている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者はユニット会議にて職員の意見や提案を聞く機会、スタッフとの個人面談を定期的に行う他、必要時は質問や希望、意見を聞いている。またその意見を基に管理者会議で意見交換や検討を行い反映させている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者より職場環境と条件等の整備への意見、働きかけを行いながら、職員がやりがいのある向上心を持って働ける様に努めている。法人は処遇改善等の賃金整備、今年度よりキャリアパス制度の取り組みに努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ご家族からは詳細把握は難しいかも知れないが、法人として職場環境、条件の整備に努めている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	法人は外部研修の予算を組み受講を推進しているが、コロナ禍の為外部研修は行っていない。管理者は毎月のユニット会議において内部研修を行っている。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍において外部研修の参加が行えていない状況にあるが、法人として各種研修、資格取得支援に努め対応されている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ①ほとんどできていない	コロナ禍の為、近隣のグループホームとの交流は出来なかったが、運営推進会議の案内、内容、議事録のやり取りを行っている。施設者の搜索、災害時の協力体制の取り組みを続けていく。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の状態や体調を考慮し、家事等出来る事を職員と一緒にやり、家族の一員としての関係を築ける様支援をしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ①ほとんどできていない	コロナ禍の為外出、外泊は行っていない。面会制限の対応を行っており、電話でご家族へ連絡報告を行う際は、ご本人とお話しが出来る様支援している。12/8より面会制限の緩和対応を実施。	・コロナの影響により面会制限等の対応を行っているが、リモートの導入などで、対応されている事が伺える。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	職員入職における新人教育が続き、入居者様の希望や意向の把握は不十分であるが、入居者様本意の検討を行える様にし、職員間の情報共有と検討に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のモニタリングの他、定期的なアセスメントと評価を行っている。新たな課題の発見に努め、介護計画に繋げている。看取りケアの際、介助方法により良かった点等、毎日朝夕の申し送りでの情報の共有を行い、実践した。	・その人の性格にも合わせた対応をして頂けている。 ・細かなケアプランを立案してくれていると思う。 ・「意思決定支援」「ICFの背景因子(環境因子と個人因子)」「適切なケアマネジメントの手引き」の資料も参考にし、進めていくのも良い。	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・意向の確認、モニタリングやアセスメントを共有し協議した上で介護計画の作成に努めることが出来ている。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活において、どのような行動があり、どのようなケアを行い、その結果がどうであったかについて職員間で共有と実践を行い、介護計画の見直しに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・介護記録への記載を通して、職員間で共有と実践に努めており、ほぼ出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ニーズの変化に際しユニット内だけではなく、別ユニットとも協力し合い、柔軟な対応が行える様努めている。	・対応されており、行えている状況が見受けられる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、地域行事へは参加出来なかった。把握する地域資源の利用も出来なかった。	・コロナ禍の影響により、行事等そのものが中止となっているが、運営推進会議等で地域への発信も行っている事が伺える。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご本人、ご家族と話し合いかかりつけ医、往診についての確認を行う。月2回の訪問診療を受け、緊急時の対応は24時間体制の往診や必要に応じ他科受診にて対応を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に医療機関と情報交換を行う。入院中の状態はコロナ禍のため面会は出来ないが、定期的に電話による確認、ホームからご家族、ご家族からホームへの情報の共有を行い早期退院に向けての関係作りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・迅速な対応、連絡をして頂けているという意見も踏まえ、情報提供や収集、早期退院に向けた働きかけが出来ている。 ・また医師からご家族への説明の機会を持つことも大切である。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様が重度化した際はご家族、主治医、本社、ホームと話し合いの場を持ち、看取り介護指針を基に方針を確認しケアを行っている。今年度は1名の看取りケア支援を行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・看取り介護指針にて説明、同意を得てご家族や医療機関との連携を図り終末期への支援がほぼ出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において全職員ではないが緊急時に備え救命講習を受講している。緊急時はユニット同士の連携、近隣スタッフへの協力体制を構築している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため消防署立ち合いによる火災訓練は実施出来なかったが、年2回の夜間想定訓練を行う。また震災時の備蓄品、発電機を用意し、避難場所や手順について地域と協力体制の確認を行っている。	・マニュアル等にて確認することもでき、対応されている状況が見受けられる。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・災害時におけるBCP、法人内のマニュアルが整備されており、例年2回以上訓練も行われており災害時に備え、対策がほぼ出来ている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様へ尊厳と尊敬の念を持った言葉かけや関わりを持つ事に努めている。否定の言葉による虐待、グレーゾーンを無くす様努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居者様との関わりにおいて、否定の言葉等に意識した実践がほぼ出来ている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務や決まり事を優先せず、グループホームの仕事は入居者様のケアである事を前提に声掛けや会話を多く持ち、入居者様の状態やペースに合わせた対応、待てるケアが出来る支援に努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	手作りの調理が多く、入居者様に合わせた調理や片付けなど家事を行って頂いている。コロナ禍のため職員と一緒に食事が出来なかった。また家事支援もコロナ過前と比べると少ない状況になってしまった。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ禍において入居者様との食事は難しい中、出来る範囲で楽しみが持てるよう支援が十分に出来ている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の食事量、水分量を記録しており、摂取量の変化を比較している。水分摂取量の少ない方へはゼリー等に変更し工夫を行っている。6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し状態の把握に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後声掛けや介助にて口腔ケアを行っている。6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングを実施し、必要時は歯科医へアドバイスを頂いている。口腔内の汚れによる肺炎等のリスクについて研修を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・6ヶ月に1回の口腔・栄養スクリーニング評価や訪問歯科との連携により口腔状態の維持向上に努めている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄パターンや習慣の把握、排泄表を利用し自立排泄の支援を行っている。便秘予防のため、毎日の牛乳の提供、水分摂取量の把握、運動や腹部マッサージ等を行い自然排便が行える様取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・個々の排泄パターン、状況を把握することで支援がほぼ出来ている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一週間に最低2回以上の入浴を行い、拒否の有る方へはタイミングを見ながら声掛けや、日を改める対応を行っている。入浴剤を複数使用し、入浴を楽しんで頂ける支援を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日の状態、希望によって昼寝を取り入れている。夜間眠れない方へはリビングにて、飲み物を提供する等臨機応変に対応し、職員と一緒に過ごす事で安心して頂ける支援を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬している薬の必要性、目的や理由、副作用やリスクを医師に確認し、職員間で理解と共に共有している。開始した事で状態の変化の申し送りや医師へ報告確認を行う支援を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・薬情や受診記録にて確認し、職員間にて共有することがほぼ出来ている。 ・また、その方の投薬状況におけるご家族への内容説明が大切であり、主治医からご家族へ説明して頂く為の働きかけも重要。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食器拭きや洗濯物の対応等の家事支援、花畑のお手伝い、季節行事の飾りつけ等、入居者様の生活歴や会話によって情報把握に努め支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ることをして頂き感謝している。 ・コロナ禍の影響により外部活動に制限があるが、内外活動等にて対応されている事が見受けられる。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為外出支援は行えていない。事業所の環境上、季節の花々が見られる為、ホーム近辺の桜、新緑、紅葉を感じて頂ける様ホーム近辺の散歩。外の空気を吸って頂ける様支援している。また新聞を取りに行く等の支援も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、仕方がないと思う。 ・コロナ禍の影響により外出が制限されている中でも、出来ることの対応がされている。 ・各種行事の様子を写真や動画で伺っている。良く出来ていると思う。 		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買い物等お金を使う機会は現在無いが、ご家族同意の基、少額のお金を持っている入居者様がいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会は制限しておりますが、以前からリモート面談の方法を取り入れ対応するも、ご家族が使用困難な事があった。定期的な報告の際、電話にて会話をさせて頂く事を実施している。在宅確認表にてホーム生活の様子も記載し伝えている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内は歩行、車椅子が安全に通る事が出来る様に段差も無く、自走が出来る広さになっている。居室の扉は横開き、ご本人の写真を貼り、ご自身の部屋と分かる様になっている。また新入居者様へは大きな名札を貼り、混乱の無い様工夫を行っている。共有スペースは季節ごとの飾りつけを行い、現在の季節が分かる様居心地良く過ごせる工夫を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・認知症の症状に応じた共用空間の調整を行うことで安全に不快や混乱を招くことがないよう十分に配慮が出来る。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向や希望を確認した際、今のままで十分、この生活が良いとの返答が多く、まだ何か意向があるのではと感じることがあるが、職員の思い込みや都合にならないよう自身の意向が言い易くなる様な会話技術に努めていく。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際ご本人の生活歴や習慣をご家族へ確認し情報を頂き、支援に活かせる様に努めている。職員全員が情報を活かせるケアが出来る様取り組んでいる。現在入居者様によっては認知症の進行、身体機能の低下によって出来なくなっている方も多くなっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は毎日のバイタル測定や日々の様子、行動の違い等いつもと違いを感じた際は管理者へ報告。また弊社担当看護師や訪問診療医へ確認を行い、支援に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の健康チェックや看護師、主治医との連携により対応が出来ている。 ・また体調変化時はご家族への連絡が迅速に行われている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外に出る習慣は出来なかったが、ホーム内の家事や活動等ご自身が得意な事を活かし、出来る事の継続が出来る様努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際持参した家具や写真等をご家族の説明の基、職員間情報共有し居室で持つことが出来ている。		A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・馴染みの持ち物を入居前に確認し、大切な物を身近に置くことがほぼ出来ている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	コロナ禍の為、ご自身の意向や希望で戸外に出かける事が出来なかった。	・コロナ禍の現状においては、地域との交流等は困難だと思う。中でも良く努力されていると感じる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご本人が出来ない、分からないと決めつけず、何が出来るのかや一緒にあれば出来るのかなど関わりを持ち、職員全員が入居者様と共に楽しんで頂く事に取り組んでいる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の状態や、コロナ禍の為、戸外に出られない制限はあったが、職員は入居者様との関わり合い、会話を多く持つ様努めている。		A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者様同士の関わりを大切にし、会話等が出来るよう職員が介入しながら工夫することがほぼ出来ている。

48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍のため、ホーム外の近隣や地域との交流は出来なかった。</p>	<p>・項目 45 同様、コロナ禍の現状においては、地域との交流は困難だと思う。そんな中でも良く努力されていると感じる。</p>		
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍のため地域の方々との交流は持てなかったが、ホーム生活において職員はご本人を敬い、かけがえの無い日々を送れるように努めている。さらなるよりよい日々を送れるよう支援を行っていく。</p>	<p>・職員の努力も感じられ、安心して生活をお願いが出来る為、今後もお願いしたい。 ・あまり出来ていないという自己評価になっているが、この感染禍においては仕方がないことも多くあり、まずはこの状況下において安心出来る日々を支援することが重要な為、ほぼ出来ているという評価で良い。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・コロナ禍が長期化する中で、制限の中ご家族との情報共有、その他医療機関等との連携を図れている為、入居様は安心した日々を送ることが出来ており、ほぼ出来ていると評価する。</p>